

新しい企画と豊かな発想で ソフトテニス競技者を育てます。 そして増やします。

平成25年度 小野杯クラブ対抗戦

期日 平成25年 4月 21日(日)
予備日 5月 12日(日)

会場 愛鷹運動公園テニスコート

大会役員

大会会長	齋藤 秀
大会副会長	村田 吉昭
大会副会長	大橋 光恵
大会委員長	下山 彰男
総務委員長	宮崎 恵子
競技委員長	朝倉 裕貴
審判委員長	村中 優

主催 沼津ソフトテニス協会

県連盟総会の概要

2013年1月20日静岡市で開催され、協会から4名出席しました。その概要は以下の通りです。
事業報告、収支決算報告、事業計画、収支予算案とも質疑応答のうえ、原案どおり議決されました。

(1) 日本ソフトテニス連盟総会の報告(主な改正点等)

- ① 全日本社会人選手権及び全日本選手権(天皇杯、皇后杯)への、支部別の出場枠が決まった。出場枠は、会員登録数で決まるが、静岡県はベスト10に入るので、社会人は一般男女20ペア、成年16ペア、天皇杯皇后杯は4ペアずつとなった。
- ② 全日本シニア選手権ダブルスの種目にシニア80が追加される。
- ③ ゼッケンの統一化の経過期間を終了し、三段書きのゼッケンのみの使用となる。
- ④ 大会結果による技術等級の認可基準にシングルス大会によるものが追加された。
- ⑤ 全日本実業団と全日本クラブ選手権を統合するなど、全日本団体選手権大会を検討する。
- ⑥ 国民体育大会の種別参加数の増加について、シングルス導入を含め検討し、日本体育協会との調整を図る。
- ⑦ 会員登録システムに連動した大会参加申込のシステム化を、支部大会活用に向けて試行する。
- ⑧ 試合終了後の握手の励行を図る。

(2) 東海連盟総会

- ① 役員全員留任
- ② 日本連盟に習い、ゼッケンの統一を行う。

(3) 県連事業計画等

- ① 国民体育大会の監督は、2012年から公認スポーツ指導者とすることを義務付けられ、中学・高校の大会も含め他の大会にも義務化される傾向であることから、今年度、スポーツ指導員資格取得講習会を開催する。各協会希望者を取りまとめて欲しい。別途、依頼の通知をする。
- ② 日本連盟、東海連盟と同様、県連盟主催の大会においても、ゼッケンを一本化する。
- ③ 国民体育大会東海ブロック大会が花川で行われるのに合わせ、観客等がゲーム進行が分かるよう得点表示板の購入を予定している。
- ④ 小学校から中学、中学から高校、高校・大学から一般へと繋がりを持たせていきたい。地元の選手の情報などを掴んで、プレーを続けられるよう配慮をお願いします。
- ⑤ 25年度に「要覧」の作成を行う。
- ⑥ 県シニア選手権に男子80の部を創設する。



<沼津ソフトテニス協会>

ホームページ:<http://numadusofttennis.com/>

メールアドレス:numasta@joy.ocn.ne.jp

TEL:055-941-9713

FAX:055-941-9715